

LRT都市サミット広島2009



嵐山・渡月橋

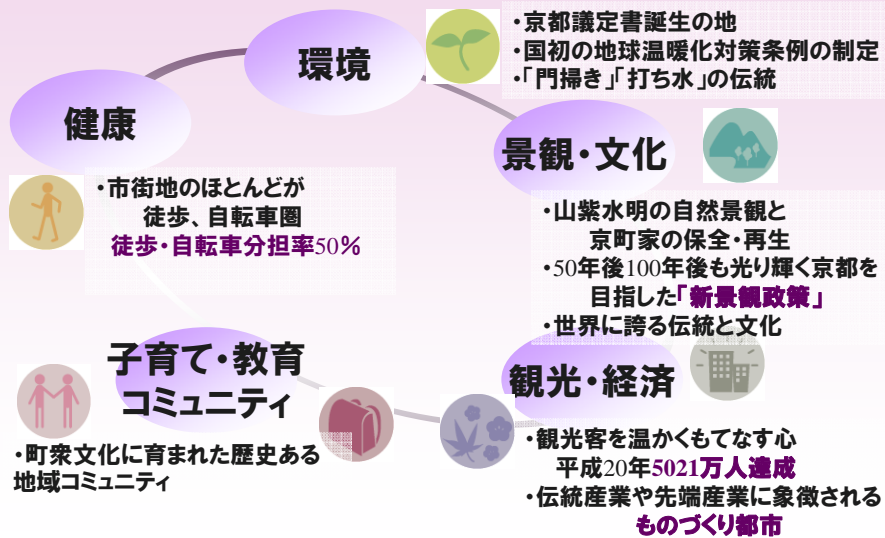


先斗町通

平成21年10月30日 京都市

京都市民の誇り

市民一人ひとりが守り続けてきた京都の魅力



明治維新後の近代化政策

明治維新後の東京遷都の後、
京都の人々は、怯むことなく様々な近代化政策を実施

日本最初の番組小学校の創設



明治初期の旧柳池小学校

琵琶湖疏水の開削



蹴上インクライン(運転当時)

日本最初の市街電車



明治時代の市街電車(復元)

明治28年2月1日
民間の力により営業開始

大正・昭和にかけての「市民の足」

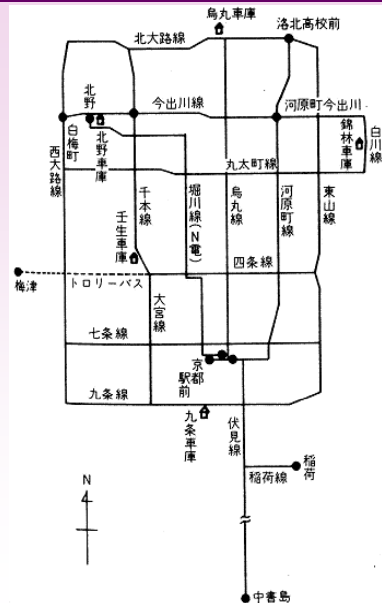
民間の路線を市が受け継ぎ、大正・昭和
にかけて「市民の足」として活躍



昭和30年代の最盛期には
路線長：74キロメートル
車両：367両
利用客数：一日約60万人



京都市電



昭和35年の市電路線図

市電の廃止、市電に代わる「市民の足」

急激な経済成長によるモータリゼーションの進展



利用者減少など、路面交通を取り巻く環境の悪化



昭和53年に全線を廃止



市バスが市電の後を引き継ぎ、「市民の足」として活躍



昭和56年には市営地下鉄烏丸線を開業し、
その後、東西線も順次開業
現在、路線長:31.2km
利用客数:一日約32万人



市バス



市営地下鉄

現在の京都の路面電車

京福電気鉄道株式会社(嵐電)嵐山本線の一部において運行

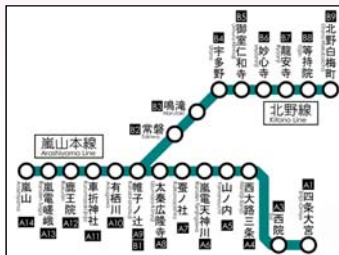


嵐電嵐山本線
(太秦広隆寺前)



嵐電北野線
(桜のトンネル・
夜桜電車)

地下鉄の延伸に伴い、地下鉄駅との結節を図るため、
路面運行区間に「嵐電天神川駅」を新設



嵐電路線図



嵐電天神川駅

LRTの導入に向けた取組

平成13年1月に策定した京都市基本計画において、
「LRT等の新しい公共交通のあり方を検討」を掲げる。



LRT導入時の課題抽出と対応策の検討を進めるための
モデル路線(7路線)を抽出し、需要予測や採算性の検討



意見交換会やシンポジウムを開催



検討モデル路線のうち、今出川通において交通社会実験を実施



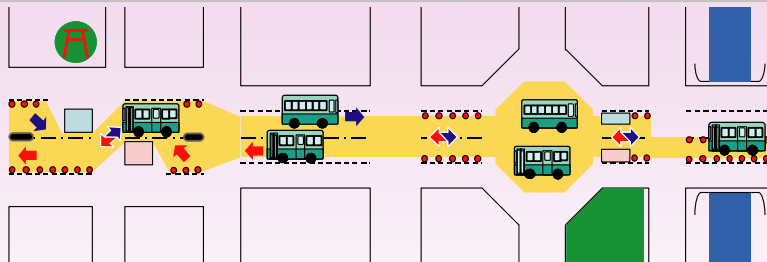
シンポジウム



意見交換会

LRT交通社会実験

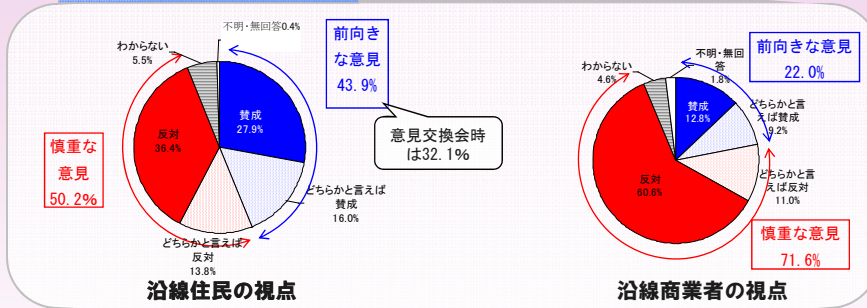
片側2車線の道路において、道路中央にバス専用の走行車線を確保し、
LRTに見立てた低床型の実験バスを運行



実施日:平成19年1月24日(水)10:00~13:00

LRT導入に対する意向

今出川通への導入意向



市民の十分な理解を得る努力が必要であるとともに、荷さばき車両への対策や総合的な自動車交通の抑制を図ることの必要性を確認

「歩くまち・京都」総合交通戦略

戦略の目標

持続可能な脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指して、世界トップレベルの使いやすい公共交通を構築し、歩く魅力にあふれるまちをつくり、また一人ひとりが歩く暮らしを大切にすることによって、「歩くまち・京都」を実現する。

戦略の3つの柱

1 既存の公共交通を再編強化し、使いやすさを世界トップレベルにする

2 歩く魅力を最大限に味わえるよう歩行者優先のまちをつくる

LRTについては、公共交通の利便性向上の観点だけではなく、環境、福祉、教育、景観、産業などの幅広い分野の政策と融合した「まちづくり」の取組として位置づけている。

3 歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルに転換する

京都議定書誕生の地

環境モデル都市

人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちづくり」を強力に推進

国際文化観光都市

まちの賑わいを生み出す都市